

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月7日

高槻市長 殿

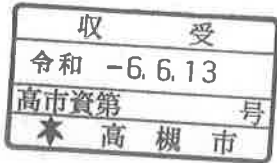
提出者

住所 大阪府大阪市北区浪花町12-24

氏名 アイサワ工業株式会社大阪支店  
支店長 小山 宏司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6371-4315

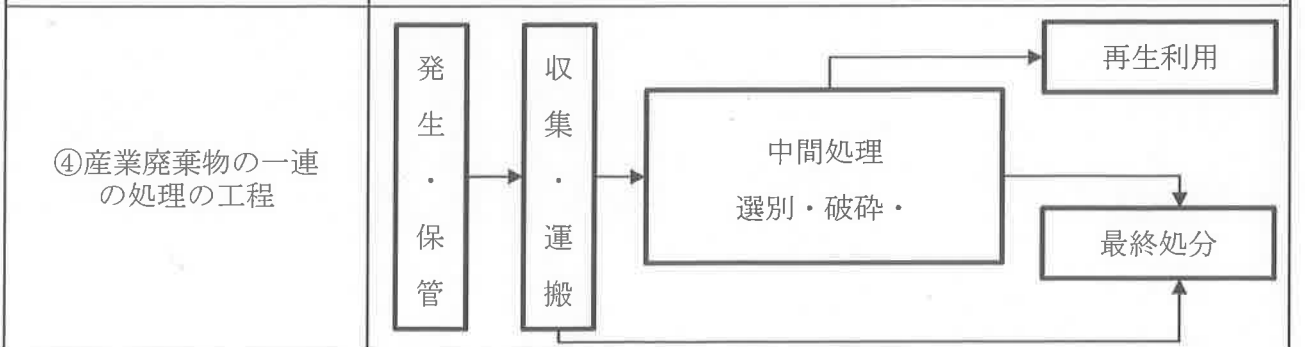


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アイサワ工業株式会社大阪支店 高槻市内作業所
事業場の所在地	大阪府高槻市内
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

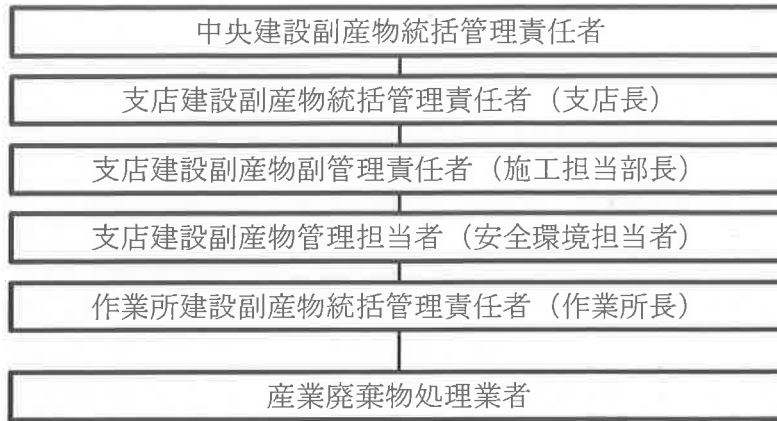
①事業の種類	D06 (総合工事業)
②事業の規模	元請完成工事高 1,741 百万円 (大阪支店管内)
③従業員数	39名 (大阪支店管内)



(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和5年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) ・工場加工の実施 ・簡易梱包の推進	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記の取り組みを継続実施する	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、木くず、紙くず、金属くず、廃プラスチック類、廃石膏ボード等を分別する為、専用保管ヤード・コンテナを設置
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記取り組みを継続実施する

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t
(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託契約前に処理業者の許可条件、処理能力等を確認し、委託契約を締結</li> <li>・適正に処理されている事をマニフェスト等で確認</li> <li>・電子マニフェスト交付を推進する為、導入業者へ優先的に委託</li> </ul>			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
(今後実施する予定の取組) ・これまでに実施した取り組みを継続実施する		
※事務処理欄		

前 年 度 【 令 和 5 年 度 】 実 績

品名	数量	事業年度										2020年度	2021年度	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1 400 コングリート破片	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 400 アスコン破片	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 221 埋戻り砂	1,640	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 810 埋戻り土	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 400 埋戻り土	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20 合計	1,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,174	0

(注)1)ト-未満は原則として四捨五入、ただし、数字が等分であれば四捨五入する前まで記載は可。

今年度【令和6年度】目標

年度	事業名	事業の概要										事業の進捗状況	事業の成果	事業の費用	事業の収入	事業の利益		
		1.事業の目的	2.事業の目的	3.事業の目的	4.事業の目的	5.事業の目的	6.事業の目的	7.事業の目的	8.事業の目的	9.事業の目的	10.事業の目的							
1	000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	710	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	810	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	###	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	###	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	###	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1001	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
	合計																	

(注)1)トク事業は別表として別添五入。ただし、数字が異なれば小数字は山下折まで記載は可。

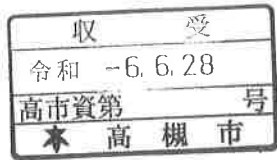
## 様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2024年6月28日

(宛先) 高槻市長



提出者

住所 高槻市今城町25番3号

氏名 株式会社エーアンドエー大阪  
代表取締役 植手 啓介

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-685-1928

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社エーアンドエー大阪
事業場の所在地	高槻市今城町25番3号
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	2,786百万円
③従業員数	93名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①の通り

(日本産業規格 A列4番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙②の通り

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（2023 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類①	木くず
	排 出 量	11.32 t	19.73 t
	(これまでに実施した取組) 毎月の会議体で排出量を確認し、情報の共有や指示などが実施できる社内組織を整備している。		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排 出 量	11.20 t	19.53 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を維持する。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 陶磁器くず(2種類)、石綿含有陶磁器くず、廃プラスチック類、木くず、ガラスくず、無機性汚泥、蛍光灯、水銀灯はそれぞれに分類し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別を維持する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

石綿含有産業廃棄物	陶磁器くず①	廃プラスチック類②	金属くず
7.33 t	137.75 t	0.01 t	0.13 t

②計画

石綿含有産業廃棄物	陶磁器くず①	廃プラスチック類②	金属くず
7.26 t	136.37 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

陶磁器くず②	陶磁器くず③	蛍光灯	無機性汚泥
58.96 t	47.00 t	0.54 t	16.30 t

②計画

陶磁器くず②	陶磁器くず③	蛍光灯	無機性汚泥
58.37 t	46.53 t	0.53 t	16.14 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃油			
7.00 t	t	t	t

②計画

廃油			
6.93 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	5122.76 t	t
	（これまでに実施した取組） 製造工程で生じる裁断片および不適合品を破砕、粉砕処理後にリサイクル原料としてしようしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	5173.99 t	t
	（今後実施する予定の取組） 製造過程で生じる不適合製品を減らす事で数量を減らし、再生利用の取組を継続する事で排出量の低減に努める。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

陶磁器くず			
5122.76 t	t	t	t

②計画

陶磁器くず			
5173.99 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類①	木くず
	全処理委託量	11.32 t	19.73 t
	優良認定処理業者への処理委託量	11.32 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	19.73 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) マニフェストについては年度毎にファイリングして排出（委託）量を素早く把握できるようにしている。毎月の会議体で排出量を確認している。委託業者への手配状況を事務所内で情報を共有化している。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

石綿含有廃棄物	陶磁器くず①	廃プラスチック類②	金属くず
7.33 t	137.75 t	0.01 t	0.13 t
7.33 t	137.75 t	0.01 t	0.13 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

陶磁器くず②	陶磁器くず③	蛍光灯	無機性汚泥
58.96 t	47.00 t	0.54 t	16.3 t
58.96 t	t	0.54 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	16.3 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃油			
7.00 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
7.00 t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全処理委託量	11.20 t	19.53 t
	優良認定処理業者への処理委託量	11.20 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	19.53 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>製造過程で生じる不適合製品の再生利用の取組の継続と、不適合製品の全体の数量を減らすことで排出量の低減に努める。</p>			
※事務処理欄			

②計画

石綿含有産業廃棄物	陶磁器くず①	廃プラスチック類②	金属くず
7.26 t	136.37 t	0.00 t	0.00 t
7.26 t	136.37 t	0.00 t	0.00 t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

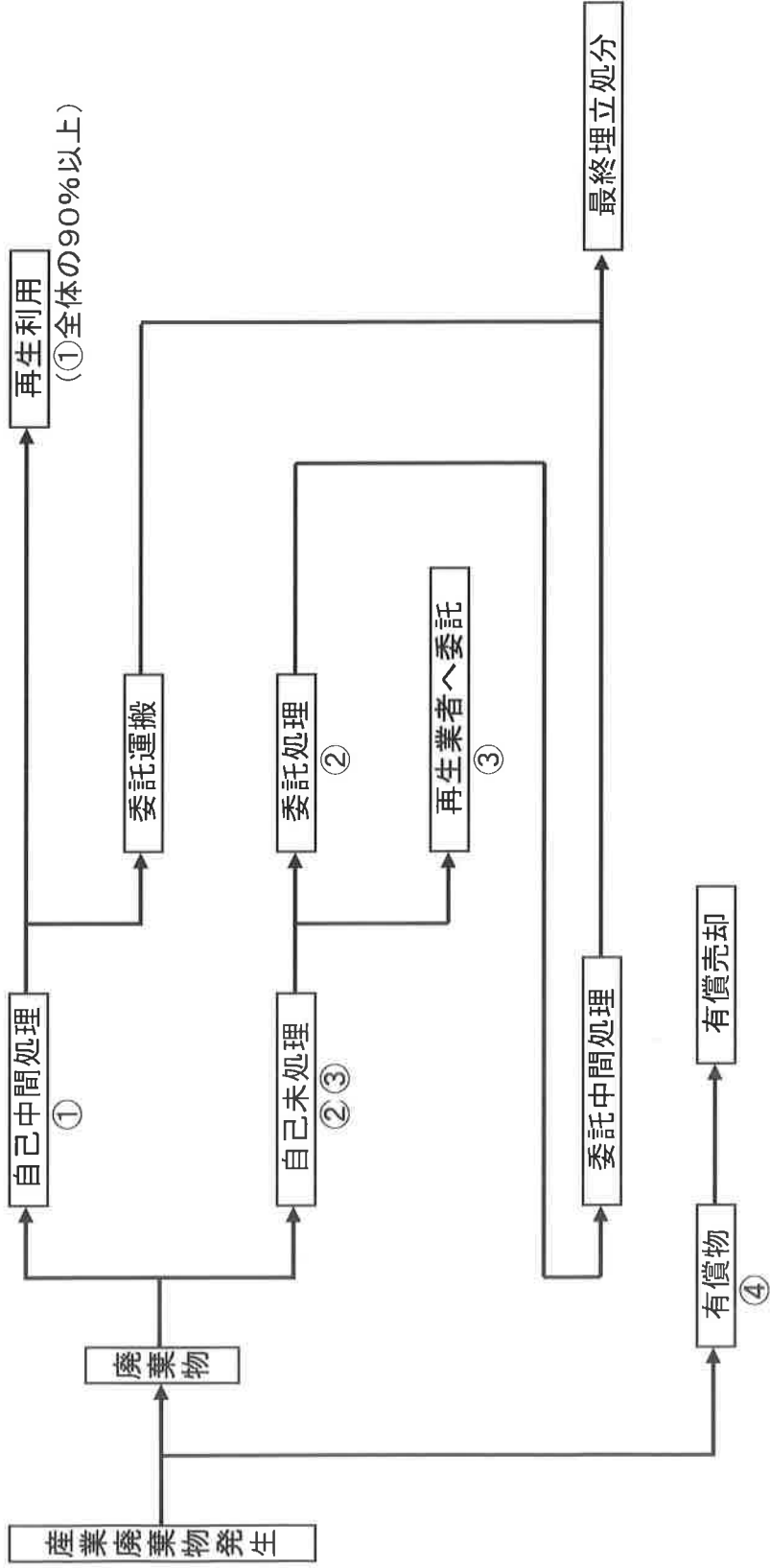
陶磁器くず②	陶磁器くず③	蛍光灯	無機性汚泥
58.37 t	46.53 t	0.53 t	16.14 t
58.37 t	t	0.53 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	16.14 t

②計画

廃油			
6.93 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
6.93 t	t	t	t

産業廃棄物処理工程フローシート

(株)エーアンドエー大阪



○発生産業廃棄物品目

①陶磁器屑

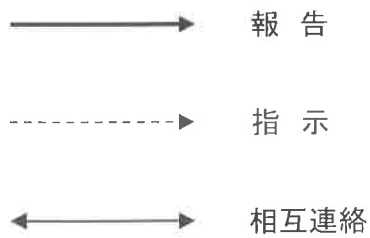
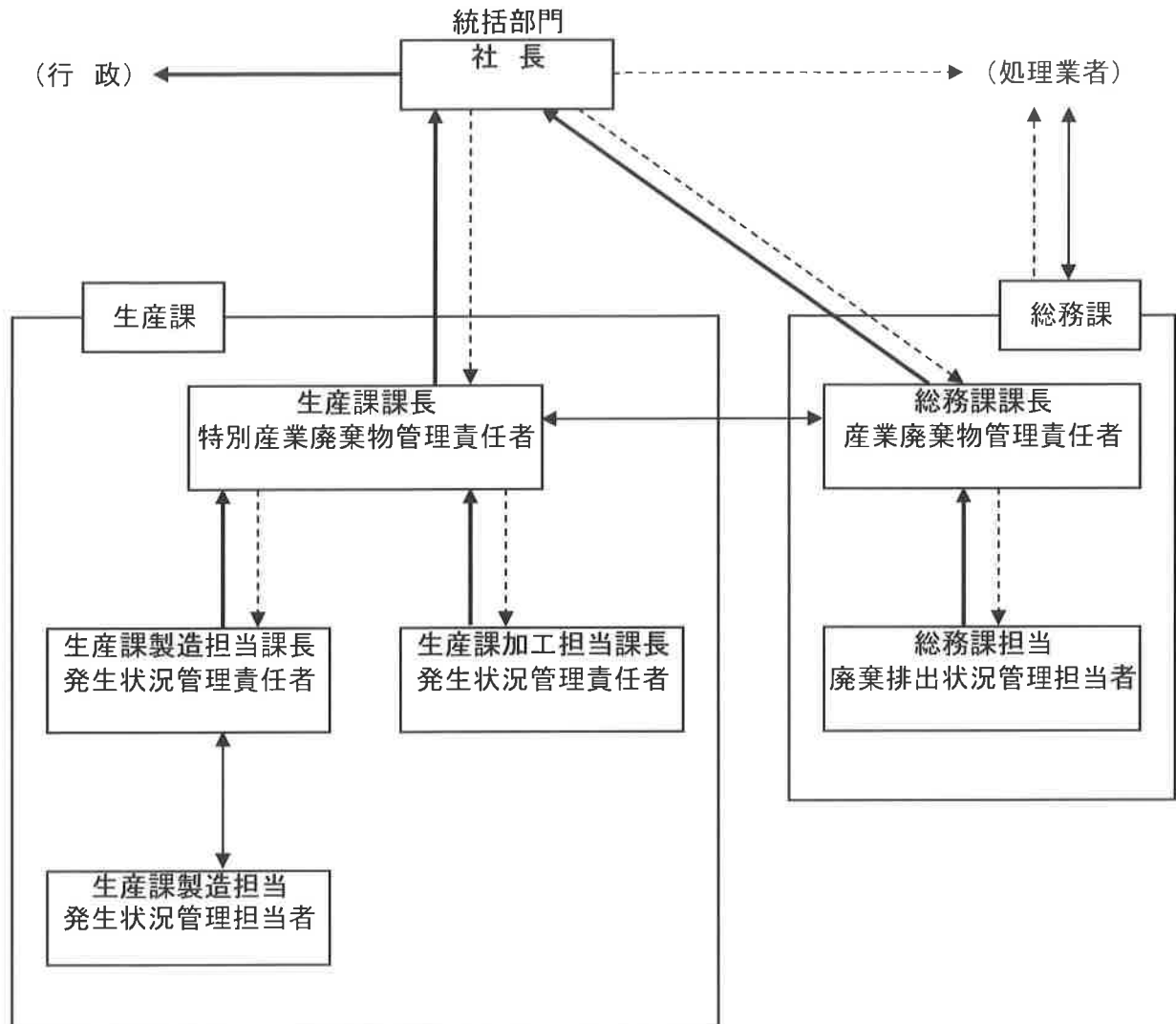
②汚泥

③木屑

④廃油

別紙②

社内組織図及び各部署の役割  
〔社内組織図〕





様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 30日

(宛先) 高槻市長

収	受
令和 6.6.30	
高市資第	号
★ 高槻市	

提出者

住 所 大阪市中央区北浜3-5-29  
日本生命淀屋橋ビル氏 名 株式会社大林組大阪本店  
専務執行役員大阪本店長 川上 宏伸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-7632-8714

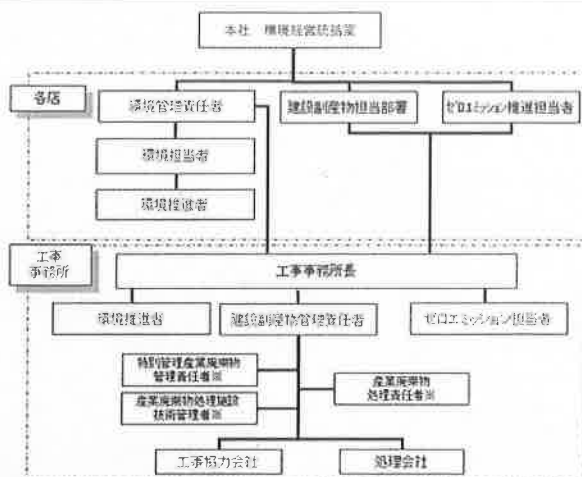
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大林組大阪本店高槻市管轄区域内事業場
事業場の所在地	高槻市管轄区域内
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	6660百万円
③従業員数	2205名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     A[施工・発生] --&gt; B[保管]     B --&gt; C[収集]     C --&gt; D[中間処理 (再生・縮減)]     D --&gt; E[最終処分]     D --&gt; F[再生品]   </pre>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	排出量	
	(これまでに実施した取組) ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定 ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等） ・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定 ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等） ・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値を設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値を設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	
(これまでに実施した取組) ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④優良認定処理業者の選定 ⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約（石膏ボード等）		

	<b>【目標】</b>
	産業廃棄物の種類
②計画	全処理委託量
	優良認定処理業者への処理委託量
	再生利用業者への処理委託量
	認定熱回収業者への処理委託量
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量
	別紙1のとおり
	(今後実施する予定の取組) ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④優良認定処理業者の選定 ⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約 (石膏ボード等)
※事務処理欄	

別紙1(産業廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和5年度)実績量

計画：今年度(令和6年度)計画量

単位：トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項		自ら行う埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理による産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
①建設汚泥	12.59	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12.59	12.00	0.00	0.00	12.59	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②廃プラスチック類	9.50	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.50	9.00	9.50	9.00	7.32	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③建設工事の木くず	9.60	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.60	9.00	9.60	9.00	9.60	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④伐採材・伐根材	5.70	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.70	5.00	5.70	5.00	4.96	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤ガラスくず等	30.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.00	30.00	30.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑥コンクリート破片	1,947.80	1,900.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,947.80	1,900.00	199.80	190.00	1,947.80	1,900.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦アスコン破片	162.70	160.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	162.70	160.00	2.70	2.00	162.70	160.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑧管理型建設系混合廃棄物	61.45	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	61.45	60.00	61.45	60.00	49.77	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨石綿含有がれき類	2.80	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.80	2.00	2.80	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑩蛍光灯	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.31	0.00	0.31	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑪廃電池類	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2,242.46	2,187.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,242.46	2,187.00	321.87	307.00	2,195.04	2,142.00	0.00	0.00	0.00	0.00







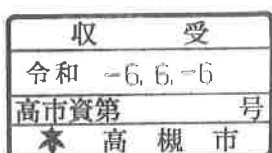
## 様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

## (第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 1日

高槻市長 殿



提出者

住所 大阪府高槻市萩之庄3-1-3

氏名 クラシエ(株)高槻第二工場  
工場長 平 茂

電話番号 072-669-6121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	クラシエ株式会社 高槻第二工場
事業場の所在地	大阪府高槻市萩之庄3-1-3
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	32 : その他の製造業
②事業の規模	製造品出荷額 : 267,133 万円
③従業員数	82名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣 A工程	廃プラスチック類 B工程
	排出量	3469.6 t	0.9 t
	(これまでに実施した取組) 生産量増産の為、動植物性残渣については例年よりも増加している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣 A工程	廃プラスチック類 B工程
	排出量	3645.0 t	1.0 t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の再利用率向上を目指します。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣、廃プラスチック類、その他廃棄物はそれぞれ分別保管している。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 会社方針として、埋立処分ゼロを目標に分別強化や処分先の見直しを進める。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類C全域	
	排出量	20.5 t	t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類について生産量増産に伴い、増加している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類C全域	
	排出量	21.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の再利用率向上を目指します。 埋立処分ゼロを目指します。 増産の計画があり増加する見込み。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣、廃プラスチック類、その他廃棄物はそれぞれ分別保管している。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 会社方針として、埋立処分ゼロを目標に分別強化や処分先の見直しを進める。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣 A工程	廃プラスチック類 B工程
	全処理委託量	3469.6 t	0.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3469.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	0.9 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工場内で物を購入するときは、エコマークの付いたものなど環境に配慮したものを買うよう推進。		

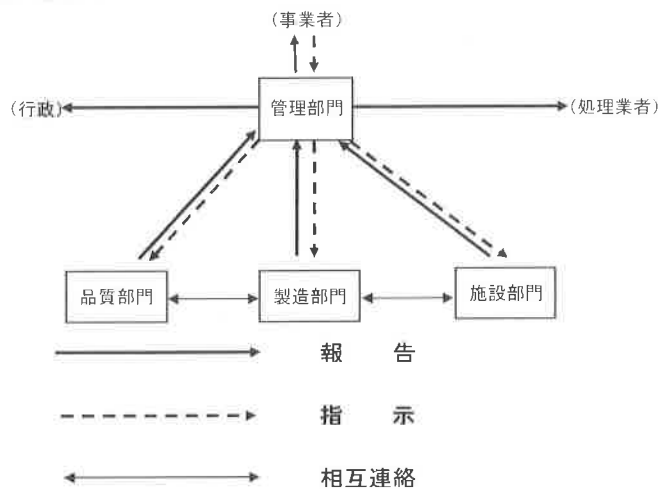
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
② 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類C全域	
	全処理委託量	20.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	16.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	16.5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	4.0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
工場内で物を購入するときは、エコマークの付いたものなど環境に配慮したものを買うよう推進。一部の廃プラスチック類を委託業者から埋立処理していることを聞き、再契約を締結し焼却⇒建材等へリサイクルとした。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣 A工程	廃プラスチック類 B工程
	全処理委託量	3645.0 t	1.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3645.0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	1.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>廃棄物の再利用率向上を目指し、分別の徹底に取り組む。 工場内で物を購入するときは、エコマークの付いたものなど環境に配慮したものを買うよう更に推進する。</p>			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類C全域	
	全処理委託量	21.0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	18.0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	18.0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	3.0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>廃棄物の再利用率向上を目指し、分別の徹底に取り組む。  工場内で物を購入するときは、エコマークの付いたものなど環境に配慮したものを買うようさらに推進する。  埋立処分ゼロを目標に分別強化及び、処分先の検討</p>			
※事務処理欄			



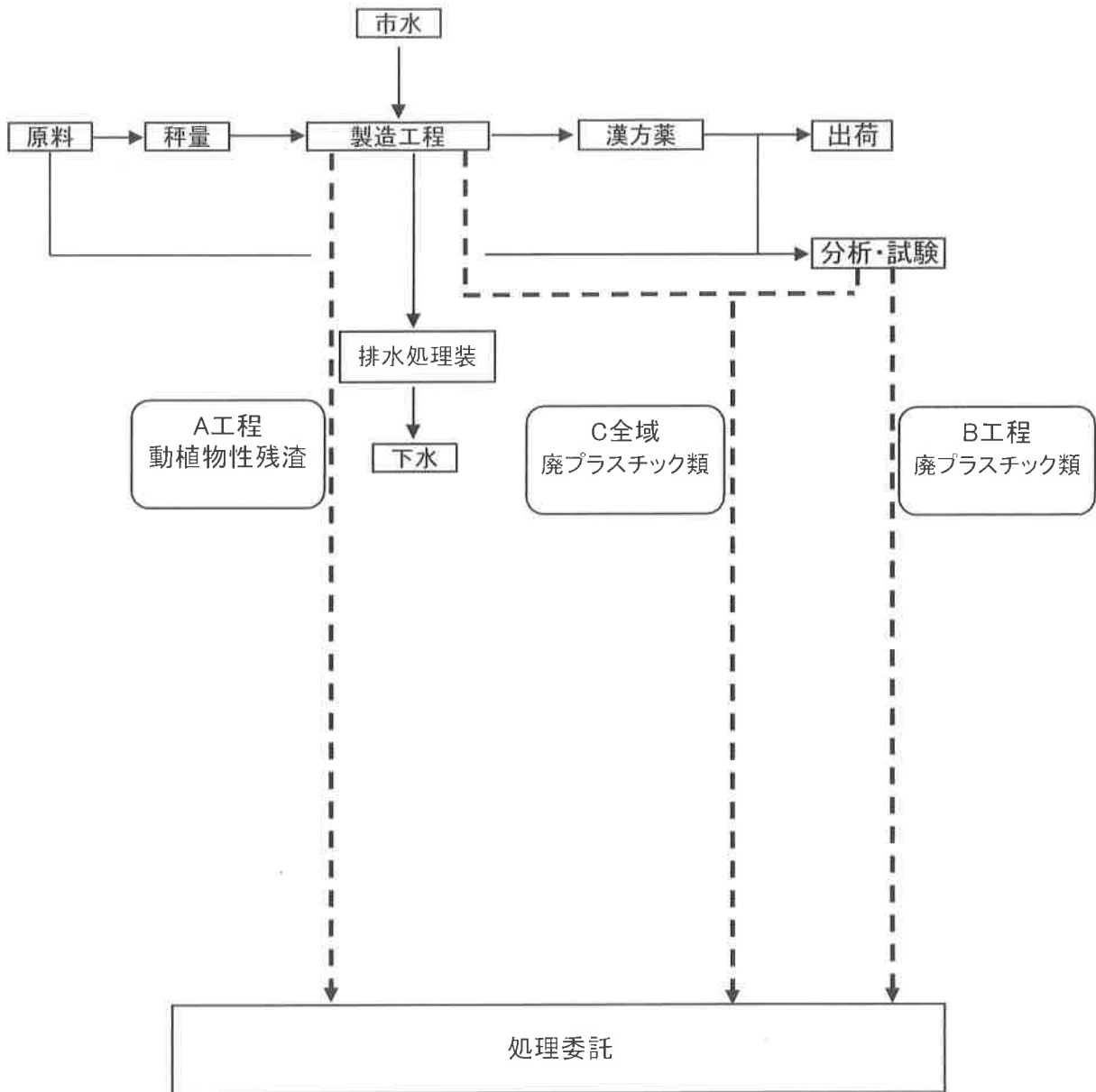
添付資料 管理体制図及び各部署の役割  
〔管理体制図〕



〔各部署の役割〕

部署	役割
A 管理部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理</li> <li>産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等</li> <li>行政に対する報告等</li> <li>処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理</li> <li>産業廃棄物の適正管理及び減量化及び分別等に関する社内啓発</li> <li>各部署間の調整及び指示</li> <li>廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施</li> </ul>
B 製造部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該部門における産業廃棄物処理委託伝票(マニフェスト)管理</li> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握</li> <li>各現場の施設の維持管理点検等</li> <li>各現場における分別状況の徹底・確認</li> <li>上記内容をAに報告</li> </ul>
C 品質部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該部門における産業廃棄物処理委託伝票(マニフェスト)管理</li> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握</li> <li>各現場における分別状況の徹底・確認</li> <li>上記内容をAに報告</li> </ul>
D 施設部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握</li> <li>各現場における分別状況の徹底・確認</li> <li>上記内容をAに報告</li> </ul>

〔産業廃棄物発生工程フロー〕



## 様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 24日

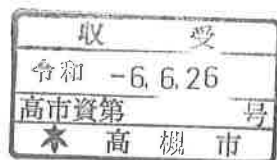
(宛先) 高槻市長

提出者

住 所 大阪府大阪市中央区北浜1-6-10  
北浜野村ビル6F氏 名 グローリー株式会社 近畿支店  
支店長 濱田 陽一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6202-0047



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

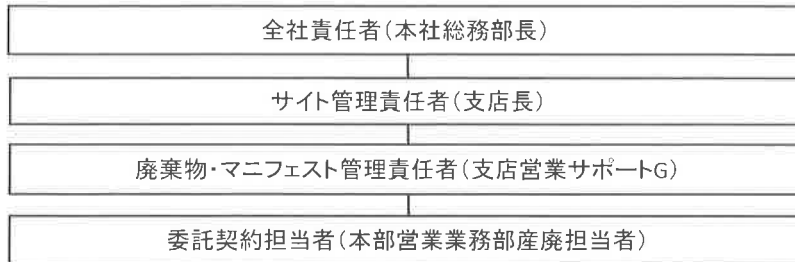
事業場の名称	グローリーIST株式会社 大阪支店
事業場の所在地	大阪府高槻市須賀町54-2
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E29 電気機械器具製造業
②事業の規模	11,124百万円 (2023年度 高槻倉庫管内の営業売り上げ実績)
③従業員数	34名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	電気機器類→解体→破碎→鉄→売却 電気機器類→解体→破碎→非鉄金属混合物→破碎→鉄→売却 電気機器類→解体→破碎→非鉄金属混合物→破碎→アルミ→売却 電気機器類→解体→破碎→非鉄金属混合物→破碎→金銀銅滓→売却 電気機器類→解体→破碎→非金属混合物→焼却→再利用 電気機器類→解体→破碎→サイクロン回収物→焼却→再利用

(日本産業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

## 産業廃棄物管理組織図



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（2023年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	排 出 量	973 t	58 t
	(これまでに実施した取組)		
倉庫内で廃棄物の仕分けを徹底し、余分な廃棄物を出さないようにする事により排出量を減らしたが商量の増加により排出量は大幅に増加した			
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	排 出 量	700 t	40 t
	(今後実施する予定の取組)		
倉庫内で廃棄物の仕分けを徹底し、余分な廃棄物を出さないようにする事により排出量を減らす。商量の減少による自然減を予想し約30%削減を目標とする。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず			
11 t	t	t	t

②計画

8 t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

木くず			
- t	t	t	t

②計画

木くず			
- t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

木くず			
- t	t	t	t
- t	t	t	t

②計画

木くず			
- t	t	t	t
- t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	全処理委託量	973 t	58 t
	優良認定処理業者への処理委託量	973 t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	58 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

木くず			
- t	t	t	t

②計画

木くず			
- t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず			
11 t	t	t	t
- t	t	t	t
11 t	t	t	t
- t	t	t	t
- t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃電気機械器具	廃プラスチック類
	全処理委託量	700 t	40 t
	優良認定処理業者への処理委託量	700 t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	40 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			
よりリサイクル率の良い委託先の検索を継続する。			
※事務処理欄			

②計画

木くず			
8 t	t	t	t
- t	t	t	t
8 t	t	t	t
- t	t	t	t
- t	t	t	t